



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社
 コード番号 3766 URL <http://www.sdcj.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 隈元 裕
 (氏名) 岡本 芳明
 TEL 03-5300-7800

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	4,284	15.5	66		76		20	
30年3月期第2四半期	3,709	8.1	54		42		61	

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 11百万円 (%) 30年3月期第2四半期 65百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	5.86	
30年3月期第2四半期	17.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	5,792	3,837	66.3	1,097.57
30年3月期	5,858	3,872	66.1	1,107.40

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 3,837百万円 30年3月期 3,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		13.00	13.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,405	13.4	318	46.8	318	33.1	187	38.7	53.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	3,940,000 株	30年3月期	3,940,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	443,425 株	30年3月期	443,361 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	3,496,575 株	30年3月期2Q	3,496,639 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、金融緩和や各種経済政策を背景として、緩やかながら景気回復基調で推移しました。一方、海外では欧米を中心に景気は堅調に推移しているものの、米国の経済政策動向に対する懸念や地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス分野においては、企業のIT投資は堅調に推移しております。

このような状況の下、当社グループでは継続案件や新規案件の受注確保、人材育成及び採用活動、M&Aへの投資などに注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,284,624千円（前年同期比15.5%増）、営業利益は66,444千円（前年同期は△54,866千円の営業損失）、経常利益は76,883千円（前年同期は△42,836千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20,494千円（前年同期は△61,798千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① システム開発事業

システム開発事業につきましては、継続案件や新規案件の受注確保に注力して、高利益案件の受注が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,524,108千円（前年同期比14.0%増）、営業利益は68,633千円（前年同期は△55,968千円の営業損失）となりました。

② アウトソーシング事業

アウトソーシング事業につきましては、顧客からの受注が順調に推移いたしましたが、M&A費用が発生しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,760,515千円（前年同期比17.8%増）、営業損失は△2,189千円（前年同期は1,102千円の営業利益）となりました。

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により前期末比65,730千円減の5,792,600千円となりました。純資産は、利益剰余金等の減少により前期末比34,421千円減の3,837,748千円となり、自己資本比率は66.3%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が76,017千円（前年同期は△44,488千円の税金等調整前四半期純損失）となり、売上債権の増減額387,007千円、たな卸資産の増減額△231,073千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△149,772千円等により、当第2四半期連結会計期間末には2,492,333千円となりました。その結果資金残高は、前連結会計年度末に比べ△34,652千円減となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は230,297千円（前年同期は250,692千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益76,017千円、売上債権の増減額387,007千円、たな卸資産の増減額△231,073千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は△165,011千円（前年同期は△17,755千円の使用）となりました。これは主に連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△149,772千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は△99,938千円（前年同期は△108,383千円の使用）となりました。これは主に借入金の返済による支出△49,998千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月11日付の「平成30年3月期決算短信」にて公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,526,985	2,492,333
受取手形及び売掛金	1,600,968	1,231,806
商品及び製品	21,746	28,001
仕掛品	71,781	305,757
原材料及び貯蔵品	18,387	15,958
その他	92,179	94,672
貸倒引当金	△1,011	△1,026
流動資産合計	4,331,037	4,167,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	416,862	426,803
減価償却累計額	△272,073	△280,202
建物及び構築物 (純額)	144,788	146,600
土地	107,273	107,273
リース資産	26,780	26,780
減価償却累計額	△14,262	△15,989
リース資産 (純額)	12,517	10,791
その他	254,739	269,788
減価償却累計額	△225,228	△234,237
その他 (純額)	29,511	35,550
有形固定資産合計	294,090	300,216
無形固定資産		
のれん	512,059	611,296
ソフトウェア	4,178	4,946
その他	9,969	10,241
無形固定資産合計	526,208	626,484
投資その他の資産		
投資有価証券	107,743	94,397
長期貸付金	2,419	1,823
繰延税金資産	295,323	297,055
その他	301,508	305,120
投資その他の資産合計	706,995	698,397
固定資産合計	1,527,294	1,625,097
資産合計	5,858,331	5,792,600

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,502	25,619
1年内返済予定の長期借入金	99,996	75,009
リース債務	6,878	4,980
未払金	612,591	559,216
未払法人税等	63,048	60,894
賞与引当金	191,543	209,854
受注損失引当金	—	6,500
その他	230,909	272,229
流動負債合計	1,223,470	1,214,303
固定負債		
長期借入金	25,011	—
リース債務	14,635	12,145
繰延税金負債	12,855	9,000
役員退職慰労引当金	57,885	61,364
退職給付に係る負債	642,290	648,830
資産除去債務	2,901	2,901
その他	7,113	6,307
固定負債合計	762,691	740,549
負債合計	1,986,162	1,954,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,182	293,182
利益剰余金	3,397,091	3,372,129
自己株式	△197,928	△198,023
株主資本合計	3,826,252	3,801,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,024	24,234
退職給付に係る調整累計額	12,892	12,318
その他の包括利益累計額合計	45,917	36,553
純資産合計	3,872,169	3,837,748
負債純資産合計	5,858,331	5,792,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	3,709,408	4,284,624
売上原価	3,056,391	3,473,788
売上総利益	653,017	810,836
販売費及び一般管理費	707,883	744,392
営業利益又は営業損失(△)	△54,866	66,444
営業外収益		
受取利息	64	40
受取配当金	2,581	2,068
助成金収入	7,099	7,961
持分法による投資利益	1,908	—
その他	1,001	684
営業外収益合計	12,654	10,754
営業外費用		
支払利息	624	315
営業外費用合計	624	315
経常利益又は経常損失(△)	△42,836	76,883
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取保険金	165	—
特別利益合計	166	—
特別損失		
固定資産除却損	0	562
保険解約損	577	—
減損損失	1,241	303
特別損失合計	1,819	866
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△44,488	76,017
法人税等	17,310	55,522
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,798	20,494
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△61,798	20,494

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,798	20,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,874	△8,790
退職給付に係る調整額	58	△574
その他の包括利益合計	△3,816	△9,364
四半期包括利益	△65,615	11,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△65,615	11,130
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△44,488	76,017
減価償却費	10,173	9,305
のれん償却額	31,630	33,794
減損損失	1,241	303
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,902	18,311
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,846	3,478
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△544	△85
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△31,000	6,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	22,008	6,540
受取利息及び受取配当金	△2,646	△2,108
支払利息	624	315
売上債権の増減額(△は増加)	397,638	387,007
未払金の増減額(△は減少)	△62,843	△55,065
たな卸資産の増減額(△は増加)	△110,718	△231,073
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,784	△11,686
その他	61,790	53,488
小計	284,830	295,042
利息及び配当金の受取額	2,646	1,948
利息の支払額	△624	△315
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△36,160	△66,377
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,692	230,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,335	△16,485
有形固定資産の売却による収入	0	-
敷金及び保証金の差入による支出	△11,372	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△149,772
その他	951	1,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,755	△165,011
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△41,665	△49,998
自己株式の取得による支出	-	△95
配当金の支払額	△62,939	△45,456
その他	△3,779	△4,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,383	△99,938
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124,552	△34,652
現金及び現金同等物の期首残高	2,540,928	2,526,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,665,481	2,492,333

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	システム開発	アウトソーシング	合計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	2,214,814	1,494,594	3,709,408	—	3,709,408
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,214,814	1,494,594	3,709,408	—	3,709,408
セグメント利益又は損失(△)	△55,968	1,102	△54,866	—	△54,866

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	システム開発	アウトソーシング	合計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	2,524,108	1,760,515	4,284,624	—	4,284,624
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,524,108	1,760,515	4,284,624	—	4,284,624
セグメント利益又は損失(△)	68,633	△2,189	66,444	—	66,444

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アウトソーシング」セグメントにおいて当第2四半期連結会計期間より株式会社フォーの株式取得による連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は133,031千円であります。